

「水産流通」	単位数	3 単位
	学科・学年・学級	水産食品類型 第3学年C組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	水産物がどのように価格形成されているかを理解し、安全で衛生的な食品流通技術を習得する。
使用教科書・副教材等	水産流通

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考(学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
第1学期	1 水産物の流通活動 (1)水産物の価格形成 ①商品の価格形成 ②水産物の価格 (2)売買と金融 ①売買の方法 ②電子商取引 ③支払方法 ④金融 (3)保険の種類と役割 ①保険の仕組み ②保険の種類 ③漁業の共済 ④漁船損害等補償制度 ⑤漁業災害補償制度	4	市場流通の基本経路を理解し、どのように価格が決定されるかを把握する。 また、流通経費について理解し経費の削減について考察する。		1学期中間考查
		5 6 7			1学期末考查
【課題・提出物等】 授業の中で使用したプリントおよびノートを提出する。					
【第1学期の評価方法】 1 定期テスト 2 知識・理解、態度(積極性・規律・出席等)を総合的に評価する。 概ね、中間と期末の定期考查の成績で70%、出席状況やレポートなどの提出物、授業態度・学習活動への参加の態度などで30%の配分として行う。					
第2学期	2 水産物流通と技術革新 (1)水産物の流通技術 ①鮮度・品質保持技術と衛生管理技術 ②物流技術 (2)鮮度・品質保持技術 ①水産物の鮮度と品質 ②低温管理技術 ③活魚流通技術 (3)衛生管理技術 ①衛生管理技術の重要性 ②衛生管理の基本と改善事例 ③HACCPシステム (4)輸送・保管技術 ①輸送技術 ②荷役と物流センターの機能	9	食品流通にはどのような技術が適しているかを理解し、将来どのような技術が必要かを考察する。		2学期 中間考查
		10 11 12			第2学期期末考查

<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 日本全国には、どのような市場があるか調べてA4判のレポート2枚程度にまとめて提出すること</p> <p>2 授業の中で使用したプリントおよびノート</p>				
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1 定期テスト</p> <p>2 知識・理解、態度（積極性・規律・出席等）を総合的に評価する。 概ね、中間と期末の定期考査の成績で70%、出席状況やレポートなどの提出物、授業態度・学習活動への参加の態度などで30%の配分として行う。</p>				
第 3 学 期	<p>(5)食品の包装技術 ①食品包装の概要 ②食品の包装資材 ③放送技術の進歩 (6)物流の新しい考え方 ①ロジスティックスの考え方 ②共同物流とSCM ③ユニットロードシステム</p>	<p>1 2 3</p>	<p>各種の食品に適した包装はいかにあるべきかを理解する。 また、将来どのような包装技術、輸送・保管技術が必要かを考察する。</p>	<p>学 年 末 考 査</p>
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 次の(1),(2)を冬季休業中に行い3学期始業日に提出すること。 (1)スーパー、コンビニなどで売られている低温で流通している食品を調べ、今までで学んだことを参考にして、各自考えたり、感じたりしたことをA4判のレポート2枚程度にまとめて提出すること。 (2)スーパー、コンビニなどで売られている食品の中で、コールドチェーンで流通している食品とチルド帯流通をしている食品にはどのような食品があるかを調べてA4判のレポート2枚程度にまとめて提出すること。</p> <p>2 授業の中で使用したプリントおよびノート</p>			
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1 学期末考査の成績、出席状況、プリント、レポートなどの提出物の内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加態度などで評価する。</p> <p>2 3学期全体の評価は、概ね学年末考査の成績で70%、出席状況やレポートやノートなどの提出物、授業態度・学習活動への参加態度などで30%の配分として行う。</p>				
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、および「知識・理解」の4つの観点から評価した1学期の成績、2学期の成績および3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。</p>				

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水産食品は日常の食事に直接関わるものであり、食卓についたときなどは、食品の原材料から製造工程、流通過程、安全管理、健全な食生活など絶えず話題にするよう日頃から心がけておくことで、理解を確かなものにし、新たに湧いてくる興味・関心が知識の構築に役立たせ、自信を植え付けることとなる。 ノートは、板書したものをそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、さらに興味を持ったことなどをメモしておき、復習時に自分のわかりやすいように整理しまとめておくこと。その際、新たに調べ上げたことなども追加しておくこと、自分の知識が深まり、学習に広がりやが生まれてくる。そのためにノートは十分なスペースを設けておくこと後で整理しやすい。
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回までの授業での疑問点や覚えておくべき重要事項についての確認・チェック、特に専門用語には馴れておく必要がある。 授業はチャイムと同時に始めるので、教材・教具の準備をし、着席して静かに待つこと。 欠席した場合は、欠席により欠如した部分のノートを級友から借りて写しておくこと。 疑問点はそのままだまにしておかず、積極的に質問するよう努める。そのためにも質問の前に自分なりに資料等を探して研究しておくことが大切である。

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> 水産物の流通形態について関心を持ち、そ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度

関心・意欲・態度	の知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、水産物の流通を合理的および経済的に創造できる能力を身に付けようとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・レポート ・ノート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の流通について自ら思考を深め、その問題の解決に向け、適切に判断し個性豊かに創意工夫する能力を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・発表の内容や仕方 ・レポート ・授業態度（授業中の発言等）
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・水産流通に関する知識の習得や調査・研究などの実践活動を通して、新しい技術革新に対応した水産流通技術を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・発表の内容や仕方 ・レポート ・授業態度（授業中の発言等）
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の流通に関する知識を身に付け、流通経路を合理的にする意義を理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

3 担当者からのメッセージ

- ・ 1年間の学習の中で、水産食品流通の問題点を的確に把握し、その解決方法を身につけることができる。また食品流通技術の基礎的な知識なども身につけることができる。
- ・ 講義形式で授業を進めていき、その中にや意見発表などを織り交ぜていく。意見発表では自分の考えをできるだけ明確に相手に伝えようとするので、表現力などが身に付いてくる。